

2024年3月21日

各 位

会 社 名 K u d a n 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 項 大 雨
(コード番号 4425 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 中 山 紘 平
(T E L . 0 3 - 4 4 0 5 - 1 3 2 5)

北米のドローンソリューションプロバイダー、 Kudan の人工知覚技術を搭載したドローン製品の販売を決定

北米発のドローン関連企業が、Kudan の人工知覚技術（KudanSLAM）を採用した製品の販売を決定したことをお知らせいたします。

1. 製品の内容

本顧客製品は産業向けドローン、中でも主に石油ガス産業におけるインフラ設備の検査や管理向け大型ドローンであり、Kudan 技術はマッピング機能と自律飛行機能の双方に利用されます。

マッピング機能は、ドローン点検に必要な3次元点群の生成を行う機能であり、通常は自律飛行機能に用いられる空間知覚技術とは別の技術が用いられますが、本件の特徴としては、マッピングと自律飛行を、同一の空間知覚技術で実現しています。これにより、別技術の場合に必要となっていたシステムを大幅に簡略化し、効率化によって拡大した計算資源を最大活用してマッピングと自律移動の両性能を大きく向上しています。

このように、共通の空間知覚技術に基づいて、複数の製品機能を実現することは、製品性能の抜本的な向上と多機能化に大きく寄与することができ、Kudan の人工知覚技術（KudanSLAM）独自の汎用性によって可能になる革新的な進歩となります。

同様の手法は、ドローン製品のみならず、点検・探索ロボットや、デジタルツイン生成と自動運転物流の双方を担う多機能ロボット・車両など、幅広い応用可能性があり、これらの新たなソリューションの実現と発展に向けて、Kudan は今後も革新的な技術で後押ししてまいります。

2. 会社概要

当社と当顧客とは、開発ライセンス販売の取引実績以外に資本関係・人的関係・関連当事者への該当状況はありません。その他の会社概要については、当該会社の意向により現時点では非開示とすることを求められているため記載しておりませんが、当顧客及び製品の詳細については今後開示する予定です。

3. 製品の販売開始時期
2024年4-6月（予定）

4. 今後の見通し

本製品リリースによる当社業績への影響は現時点では軽微と見込んでおります。今後の当社業績に与える影響は当製品の販売次第となるため、今後製品販売増等により当社業績への影響が大きくなると見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

【K u d a n株式会社について】

Kudan は、人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする Deep Tech（ディープテック）の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、人工知能（AI）と相互補完する技術として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しています。

詳細な情報は、Kudan のウェブサイト (<https://www.kudan.io/jp/>) をご参照ください。

■会社概要

会 社 名： K u d a n株式会社

証券コード： 4425（東証グロース）

代 表 者： 代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)